

全国高校生マイプロジェクトアワード2019

オンライン全国Summit出場 All Star Teamプロジェクト一覧



学校部門

No	学校名	プロジェクト名	プロジェクト概要
1	北海道奥尻高等学校	奥尻マルシェ ～Connect to the future of Okushiri～	遠征時に旅費が多くなる母校の課題解決を目指す。持続的な活動を目指し「オクシリノベーション事業部」を設立。企業の協力を得てイベントを行い、webでの情報発信や島の商品のデザインにも取り組む。
2	北海道静内高等学校	私たちの学ぶ「意味」付けOPK!	世界に起こっている問題を自分ごととして解決する高校生を増やすため、学校の打ち出した「10の力」の意味を自ら定義しようとするプロジェクト。生徒会だけで行っていた会議をオープン参加にし、議論を重ねた。
3	岩手県立大槌高等学校	吉里吉里大神楽保存会をより深くより広く	自分の好きな大神楽を知り、町や地域を盛り上げるべく、大神楽を発信するプロジェクト。先輩たちの大神楽に対する思いや震災前後での気持ちの変化をヒアリングし、その思いを後輩や他の人にも伝えている。
4	岩手県立大船渡高等学校	親子に安心を! ～貧困から子ども虐待の解決へ～	高校生にできることから、大船渡市の貧困と子ども虐待の問題解決を目指すプロジェクト。児童養護施設への訪問を通して現状を調査しフードドライブの実行を計画している。
5	岩手県立大槌高等学校	想像力は命を救う	災害時にネガティブに働く認知バイアスの解除を目指す。バイアスが働く理由に「想像の不足」があると仮定し、想像力を働かせてもらうべく、指定された条件下で物語を考えるワークショップを企画している。
6	宮城県農業高等学校	命のバトンPROJECT	震災を知らない子どもたちを対象に、牛を題材にした「命の授業」の語り部を行う。人形劇やスマートフォンを活用するほか、牛乳のジェラートを子供達に食べてもらう。ジェラートは商品化され、全国で販売されている。
7	私立尚志高等学校	過敏性腸症候群を知っていますか?	「過敏性腸症候群」の認知度を上げ、病気を患っている人にとって安心できる場所を設けることが目的。調査活動や保健だよりへのコラム掲載などを行った。今後は交流会を企画し、心の拠り所を創っていく。
8	私立都文館高等学校	「あたりまえ」づくりプロジェクト	障害に関わらず楽しめるイベントへの参加を通じて、同年代にも支え合いを当たり前と感じてもらえるような社会を目指す。フィールドワークやインタビューをふまえて、音声言語を使わない楽器体験イベントを企画した。
9	私立横浜女学院高等学校	エシカル消費とSDGs! ～ビジネスが世界を救う～	発展途上国で起こっている問題は先進国の消費活動と結びついているとの気づきから、「エシカル消費」の普及を進める活動を行う。商品販売や広報活動、企業との意見交換会などを通し、消費者の意識改革を試みる。
10	私立N高等学校	ONMITSU PROJECT	早川町の良さを伝えようと、東京のかき氷専門店にて修行、資格を取得し、自宅を改造してかき氷屋をプレオープン。かき氷みつのほか、台風の影響で使えなかった在庫を活用したジャムの開発・販売も行う。
11	静岡市立高等学校	私たちはまだ幸せを知らない	負の感情にとらわれがちである人が幸せであるためには、自他の強みに意識を向ける必要があるという仮説のもと、参加者が自他のポジティブな側面を意識できるようになるためのインタビューやワークショップを実施。
12	私立八王子実践高等学校	高校生が人の命を救う	幼い頃から支えられた地域の人々に恩返しをしたいという想いから、AEDのない地元で、わかりやすく誰でも使える場所へのAED設置を目指すプロジェクト。設置に向け、行政との話し合いを進めている。
13	長野県上田高等学校	カンボジア井戸プロジェクト	SGH指定校として相互の顔の見える支援をしたいという想いから発案したプロジェクト。文化祭や生徒会への呼びかけを通じて資金を集め、カンボジアに渡航して井戸を掘った。また、その経験を出前授業や意見交換の場で情報発信している。
14	私立名古屋経済大学市邨高等学校	多様な性、生、say ～目指せジェンダーレス社会～	多様性が尊重される社会を目指し、多様性について描く映画や、LGBTを題材にしたオリジナル脚本をミュージカルで表現。また「ジェンダーレス制服」を発案し、署名を学校長に提出。導入に向け、制服会社にも提案中。
15	福井県立若狭高等学校	オタクの力で地域を活性化するには	オタクを題材に、地域活性を目指すプロジェクト。インタビュー・アンケート調査を経て、地域内のオタクコミュニティを創造することが地域活性につながると考え、鑑賞会を中心とした交流会を地元施設で実施予定。
16	福井県立若狭高等学校	水仙スマイルプロジェクト ～地域活性化と笑顔のために～	地域活性化と高齢被災者の心のサポートを目的に、復興の花である水仙を栽培し、被災地の老人ホームに贈るプロジェクト。地元の町を復興支援の町として有名にし、高齢被災者を笑顔にしたい。
17	私立N高等学校	N高CM企画	CMを通して、同世代に新しい考え方を提示したいという想いから、「答えあわせから 答えあつめに」をキャッチコピーに、母校の宣伝コマースを作成。オープンキャンパスで披露した。
18	私立神戸国際大学付属高等学校	みんなで考えよう! 本当に必要な性教育とは?	性の正しい知識を知ってもらうため、ワークシート教材を自作しクラスメイトに配布。さらに、参加したイベントでの学びを発表したほか、性について考える場や、性や健康に関する通信も発行。活動を学外に広げる準備を進める。
19	岡山県立津山東高等学校	未来の医療と食べることの素晴らしさ ～高校生の私でも健康にできるんじゃけん!～	ガン治療に興味を持ったことで、誰でも簡単に楽しくできる、食事を通したガン・生活習慣病予防を模索するプロジェクト。フィールドワークや専門家との対談、予防のための食事のメニュー開発や情報発信などを行う。
20	広島県立大崎海星高等学校	海星保育園を作るう	保育士になりたいという夢から、保育園と地域を結びつけようと試みるプロジェクト。絵本の読み聞かせ会の開催や、園児を高校に招き、シャベットづくりなどのワークショップを行った。
21	岡山県立倉敷古城池高等学校	高校生企画! 「子ども食堂で、いただきます!」	子どもをはじめとした地域の人々の居場所づくりを行うべく、子ども食堂を運営。広報や調理、メニュー開発、イベントの実施なども高校生が中心となって実行しており、宿題のサポートや地域の人々との交流も行う。
22	島根県立隠岐高等学校	隠岐藻塩シイタケプロジェクト ～世界初?独自のブランドを作り出す!～	豊富な環境と歴史ある隠岐の島で、付加価値のあるシイタケを栽培すべく、農家や専門家、企業、大学と協力しながら、世界初の藻塩を散布して育てる「藻塩シイタケ」の試験栽培に取り組む。
23	島根県立松江南高等学校	LOVERY KOSHIBARA PROJECT ～防災マップ作りから見た脆弱な防災体制の改善～	地元で独り暮らしの高齢者が多くいることから、高齢者向けの防災マップを作成。その際、飲用水、生活用水、AEDなどの情報が不十分であることを知り、情報収集や整備、設置の呼びかけなどを行った。

24	熊本県立芦北高等学校	芦北のお茶の魅力を発信! ～芦北産ほうじ茶を使用した商品開発と普及活動の実践～	農業科で学んだ専門知識を活かし、芦北産のほうじ茶を使用したスイーツの開発や普及活動を通して、熊本県のお茶の認知度向上を目指すプロジェクト。
25	長崎県立佐世保西高等学校	Mine佐世保 ～愛の町佐世保にIUUを～	佐世保市をよりよい町にすべく、子育て世代の移住を目指すプロジェクト。パンフレット制作やSNSでの広報活動、住みよい町づくりに向けた制作活動、企業の設立に向けた活動も行っている。
26	宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校	原始体験サバイバル 小学生育成	五ヶ瀬町のためになにかしたいという想いから、県内小学生を対象としたキャンプを企画。日をまたいで町を体験してもらうことで、観光客を一步超えた関係人口を生み出せると考えている。
27	宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校	わらじでつながる!地域の絆プロジェクト	県の無形文化遺産に登録されている五ヶ瀬町の荒踊り。わらじを履いて踊る地域の伝統を守るべく、インタビューや情報発信を行った。さらには、地域の子供たちを対象にわらじづくりを教える教室を開催する。
28	沖縄尚学高等学校	町もどし	高校生の目線で、昔ながらの商店街に地元の人を呼び戻すプロジェクト。小学生に向けた魅力ガイドの実施や、商店街の人気店への出店依頼などを通して、活動を広げている。
29	東京都立三宅高等学校	アシタバユニ育成プロジェクト	大好きなウニの魅力を知ってもらうため、アシタバを養殖。エサ不足で中身のない三宅島のウニの身を増やすべく、無料で手に入るアシタバを使って飼育し、ウニを太らせることに成功した。
30	兵庫県立村岡高等学校	射添紙(いそがみ)でつなごう! 村岡と世界	伝統工芸である射添紙を使った作品を棚田の水上に浮かべるイベントを企画した。継続的な協力者を呼び込むべく、紙漉き体験ツアーを香美町のふるさと納税返礼品にも登録している。
31	北海道登別明日中等教育学校	未知の駅をつくる	隠れた登別市の魅力を地元市民や観光客に伝え、地元市民の交流の場を提供することを目的に活動。理想とする道の駅の実現に向けて、視察や行政・専門家との話し合いを重ね、イベントを実施予定。
32	新潟県立佐渡中等教育学校	おっちゃん祭 ～つまみでつなぐ佐渡のおっちゃんと若者～	個性的で面白い、佐渡の大好きな「おっちゃん」と若者をつなぐイベントを開催。「おっちゃん」と若者が共に愛するおつまみを軸に、「おっちゃん」と若者が日常的にかかわるきっかけをつくった。

個人・グループ部門

No	都道府県	プロジェクト名	プロジェクト概要
1	北海道	SDGsをジブンゴトカ	SDGsをあらゆる年代にとって身近な存在にするべく、イベントでのスピーチ、ワークショップの開催やオリジナルカードゲームの作成などを行う。また発電の燃料に適した木材を研究し、社会や行政に向けて発信した。
2	岩手県	煌めき～唯一無二の遠野の花火	遠野市を多くの人に知ってもらいたい、人々の心に残るような花火大会を作りたいという想いから、市の花火まつりの目玉となる企画づくりを商工会や企業と考え、実行するプロジェクト。
3	青森県	学生団体LINDEALの挑戦! 東北の高校生が未来を描くために。	東北の高校生に自分の未来は自分でつくると意識を与えるべく、団体を立ち上げ。高校生会議・ワークショップ・模擬選挙などの多様なイベントの開催、校外活動支援金の提供、学生団体設立サポートなどを行う。
4	宮城県	気仙沼クエスト ～「内輪受け」が起す観光革命～	得意なイラスト、作曲、ゲーム制作と、解決したい人口減少という課題を組み合わせ、オリジナルゲームを制作。企業や行政、市民からのアドバイスを受け改良し、ポイントカードとのコラボイベントへの参加も果たした。
5	東京都	FreePaper『ChaiChaiCha!』制作プロジェクト	区内の全中学校高校に向けて発行されているフリーペーパーを中高生自身で制作するプロジェクト。中高生が中高生に届けるメディアとして、文京区の中高生の「やりたい!」を応援するためのコンテンツを制作する。
6	滋賀県	うちーの部屋	自身が興味を持つ教育、さらに学力調査で苦戦する地元へ貢献したいと、小中学生向けの勉強会「うちーの部屋」を開催。楽しく勉強に取り組んでもらうための工夫を施している。
7	東京都	チャレンジドプロジェクト	「チャレンジド(障がいのある方)」に対する「かわいそう」という感情や、健常者との壁をなくすべく、ポッチャやシッティングパレー、ブラインドサッカーなどのバラスポーツイベントを企画、実行。
8	長野県	目指せ観光地! ～軽井沢のお隣御代田の挑戦～	御代田町を観光で盛り上げるため、空き別荘を活用した観光を町に提案。地元住民にも参画してもらえる仕組みを模索している。その上で、行政はもちろん、企業や地元住民にも度重なる調査を行った。
9	鳥取県	High School Life EXPO	鳥取県の高校生の活躍を同年代に知ってもらい、出展した高校生と来場者をつなぐ機会として、様々な活動を行っている高校生が来場者に活動を紹介するイベントを県内の高校生と協働して開催。
10	島根県	出雲神楽再興戦術 ～伝統を守るために～	人口減少により衰退・消滅の危機にある出雲神楽。伝統芸能を守るべく、学生の神楽チームを結成し上演。触れ合いコーナーも展開している。また、神楽のブランドを立ち上げ、ブランディングや商品づくりを行っている。
11	島根県	教科書PJ～S2DGs学びDesign	月に一回運営している高校生カフェでの対話から生まれたプロジェクト。自分から疑問を生み出す力・疑問を乗り越える力を身につけるべく、社会的な課題解決の筋道になるような教科書を作り、広げることを目指す。
12	石川県	#ひとりじゃないよ ～髪を失った人々に笑顔と自信を～	文化や偏見により女性の髪喪失に対する拒絶が大きい日本。髪を失っても生き生きと活動するモデルケースを創るべく、イベントや写真展、交流会を開催する団体の活動を地元でも広げようと発信を行う。
13	三重県	海岸清掃とロボットを使った環境教育活動	大好きな海洋生物を守るべく、漂着ゴミ問題を解決・改善することを目的に活動。学生が主体となった海岸清掃の実施や、自ら作成したロボットを活用した環境教育活動を行う。
14	熊本県	熊本通信制高校等スポーツフェスティバル	通信制高校同士の交流を増やし、さらには通信制高校の素晴らしさを多くの人に共有しようというプロジェクト。体育館を利用して、一般の方も参加できる競技を含めた交流会を実施した。
15	岡山県	白石踊り800年の伝統を受け継ぐ会	笠岡市の重要無形民俗文化財「白石踊」の後継者不足を解消するため、自らが踊りの担い手になり、踊りをテーマとした記事を作成して市役所ホームページで更新する。また、伝統文化の裾野拡大に貢献すべく、高校生に対する情報発信も行う。
16	兵庫県	僕は不審者だ?!	歳の離れた妹の世話を始めたことをきっかけに、公園の清掃や見守り活動など、子どもたちの笑顔を守るためのアクションを起こした。しかし次第に、自分に向けられた周囲からの目線に気づき、疑問を持った。